



中学校までは、みなさんは全員が同じ内容を学んできました。高校になり、理系と文系にわかれ、学ぶ内容が人によって少し変わりました。大学では、さらに学部や学科によって学ぶ内容が大きく異なってきます。学問の世界は奥深く、自分の専門の学問を学ぶだけで膨大な時間がかかるためです。

ところが、その弊害も指摘されています。専門化が進んだ結果、現在の学問領域はあまりに先鋭的になりすぎ、一人の研究者が扱える研究範囲がとて小さくなっています。その結果研究の“視野”が狭くなり、時として新しいアイデアを出せずに行き詰ってしまうのです。



そんな時に、世界の研究者やイノベーター（革新を起こす人たち）はどうしているのでしょうか。イノベーションを研究しているS.Berkun氏が2005年にアンケートをとったところ*）、75%以上の人が

「他の学問領域のアイデアを適用する」

と答えています（下図参照）。これは、現在の科学研究においては、自分の専門領域の知識だけでは限界があり、他の学問世界も知っていなければ突破できない壁がある、ということを示唆しています。



このFSSのテーマは「つなげるちから」です。自分の専門領域の世界と、さらに別な知の領域の世界を“つなげる”ことで、未来の新しい学問の世界を開拓することができるのです。

問：アイデアを出すときにどんなテクニックを用いていますか？

1位：他の領域のアイデアを適用する 76.9%

2位：ブレインストーミング 72.5%

3位：実験してみる 64.8%

4位：他の人とコラボレーションする 63.7%

*）<http://scottberkun.com/2006/innovation-survey-results-summary/>より一部抜粋



お知らせ・お願い

先生方・高校生の皆さんへ

静岡大学では、平成29年度から“科学技術振興機構”の委託を受け「グローバルサイエンスキャンパス」を実施しています。

本事業は、将来グローバルに活躍しうる傑出した科学技術人材の育成を目的として、卓越した意欲・能力を有する高校生に、国際的な活動を含む高度で体系的な、理数教育プログラムを提供するものです。静岡大学では、来年度も第三期の受け入れを予定しています。

つきましては、意欲のある高校1、2年生の皆さんにぜひ本FSSをお勧め下さい。

なお、第三期の募集は2019年春ごろからですが、書類等の作成にやや時間がかかりますので、**静大FSSのWebサイトであらかじめ情報を収集してご準備いただくこと**をお勧めいたします。

未来の科学者
養成スクール始動

<https://www.fss.shizuoka.ac.jp/>
静大FSS Webサイト

